



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

6月援農時間 1,772時間（昨年同月 1,714時間、58時間増）、
受入農家 18軒（昨年同月 18軒）、参加会員 49名（昨年同月 52名）、
1月からの累計援農時間 9,200時間（昨年同月 8,658時間、542時間増）
5月に続き、忙しさは続いています。6月は比較的好天が続き、驚くほどの
暑さの日も少なかったように思いますが、7月は雨があり、暑さもあり、桑
の葉作業があり、ブルーベリー収穫作業もありと、「雨や暑さと戦いながら、
忙しさに対応する。まさに体力勝負の月」になります。引き続き、熱中症だけでなく
健康を維持しながらの援農参加への呼びかけをしていきたいと思ひます。（北尾）



理事会報告

7月度理事会（7/15(木) 18:30~20:00 大横保健福祉センターにて。
8人出席）

・市民農園報告：

- ① 久保山農園：開設に伴う作業は終了。周囲の除草に年4~5回の作業が必要と思われる。34区画中20区画埋まった。利用者を募集中。詳細は6月報参照方。
- ② 久保山農園以外の6農園97区画は、現在全区画利用されている。
- ③ こすもすファーム：昨年八王子市により、上部を流れるU字溝の浚渫をしていただいたおかげで、一昨年の台風時のような浸水は起こらないと思われる。そのため、利用者と理事が農園内に掘削した排水溝は、通行上の安全を考慮し、埋め戻す計画である。 他

すずしろ22アンケート調査結果

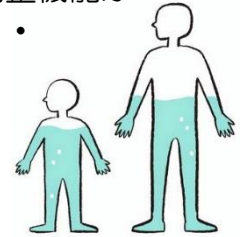
昨年11月~12月、アグリタウン研究会が
アンケートや聞き取りですずしろ22の調査を

行いました。その結果をまとめた『令和2年度東京都内等における援農ボランティア実態調査 調査結果報告書』が2月に発行されました。この報告書には、すずしろ22の他に、5団体、自治体による援農ボランティア2つも載っています。先日7/15(木)の理事会開始前に、アグリタウン研究会の北沢俊春氏にお越しいただき、この報告書の内容をお話いただきましたので、ご紹介します。

- ・年間19000hの援農時間は、他市の団体と比べ、とびぬけて多い。他団体は多くても13000時間。
- ・有償ボランティア制度は、町田市のたがやすと、すずしろ22のみ。
- ・2010年から耕作放棄地を借り受け、5農園（合計6800㎡、総区画数97区画）で市民農園を開設している。他団体は市民農園を開設していない。
- ・任意団体のころから広報誌を月1回出しており、内容も楽しいものになっている。
- ・援農の作業内容は、除草がトップだろうという予想に反し、収穫が一番多かった。
- ・一般会員のアンケートより（67名から回答）。入会理由は、農地や農業の維持に少しでも貢献したいから、土や植物に触れる楽しみのため、健康のため等。援農活動の満足度は、8割強の会員が『満足』と回答。
- ・2軒の農家の聞き取りより。2軒とも、毎日誰かしら来ており、このことが農業経営の規模拡大につながっている。
- ・農家会員のアンケートより（13名から回答）。援農者を受け入れた理由は、恒常的・一時的な人手不足があるから、農業経営を維持したいから等。農業経営への効果は、労働力不足の補完、労働経費の削減、労働負担の軽減、家族の休日が取れるようになったこと等。援農者受け入れの課題は、丁寧さに欠ける、技術不足、援農者の姿勢や技術差等。すずしろ22に対する評価は、『評価する』、まじめに作業してくれる等。

安全PR

昨年より約2週間早く梅雨明けして以降、連日厳しい暑さが続いています。6月報にて厚生労働省の熱中症予防パンフレットの紹介をしましたが、再度、目を通して頂き、予防に努めてください。統計では、熱中症患者の半数が高齢者(65歳以上)となっています。高齢者は、①体内の水分が不足しがちです、②暑さに対する感覚機能が低下しています、③暑さに対する体の調整機能が低下します。援農時には「無理をしない」・「こまめな水分補給」・「早めの休憩」を心掛けてください。また、熱中症の発生場所としては、室内(住居)が全体の約40%と最も多くなっています。エアコンを使用する等、室内に熱がこもらないように心掛けてください。



農家さんへのお願い

いつも援農者の安全にご配慮頂きありがとうございます。これから暑さの本番を迎えるにあたり、改めまして「援農者が目の届かない場所で一人作業とならないよう」ご配慮頂きたい、よろしくお願い致します。(清水)

事務局から

『令和2年度東京都内等における援農ボランティア実態調査 調査結果報告書』と、ボランティア団体一覧の載った『はちおうじNPOハンドブック』を貸出します。

ご希望の方は、飛田 (emiko_tobita@ybb.ne.jp 070-4449-2641) まで

イベントのお知らせ

《番場農園のブルーベリー摘み取り体験》

ブルーベリーを3パック(約1.5kg)摘み取り。2パックは農家さんへ、1パックは援農のお礼として頂くという摘み取り援農体験です。雨天中止。各日30名。

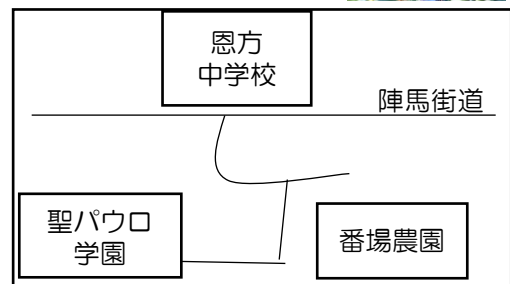
◎体験日：8/7(土)と8/8(日)：13:00~16:30、
8/9(月)：9:00~13:00

◎参加費：すすしろ22会員100円 会員外200円(保険代含)
小中学生100円(申込は小学生以上)

◎場所：下恩方町番場農園
バスで来場の場合は
高尾駅北口①大久保又は陣馬高原下行き
「大久保」下車 徒歩7~8分

◎持物：飲み物、手提げ袋等、帽子

◎申込：mizue06230415@yahoo.co.jp
ショートメール 090-4912-2117 佐藤まで



「地場野菜を使った料理会 一秋のお弁当づくり」を10/2(土)に開催します。会場は未定。詳細は8月報をご覧ください。



野草あれこれ

オヒシバ(雄日芝) イネ科オヒシバ属
世界の暖帯から熱帯に分布。本州以南の強い日差しの下で茂る1年草。茎は束生し直立または斜めに立ち、高さ30~70cm 強じん、扁平で平滑。葉も強く、長さ8~20cmの線形。茎の先に長さ10~20cmの扇状の花穂がつく。花は夏から秋。名前は夏の暑い日に繁茂し雄々しいことから付いた。



メヒシバ(雌日芝)

イネ科メヒシバ属
世界の温帯から熱帯にかけて広く分布。畑や道ばた、いたるところに生える、農家泣かせの1年草。茎の下部は地を這って分枝し、節から根を出して広がる。草丈は30~80cm。葉は広目の線形で薄く8~20cm。茎の先に独特の形の花穂を3~10本放射状に広げ、淡緑色の小穂を密生する。花は夏から秋。名前は雄日芝に対しての呼称。

